



創誠健和



旭川中学校 学校通信 7月号



中体連壮行会(6月23日)

令和4年7月4日発行

各部代表が「選手宣誓」

旭川中学校の代表として中体連地区大会に参加するにあたって、全校生徒による壮行会が開催され、各部の代表による誓いの言葉!「選手宣誓」が述べられました。コロナ禍にあって、3年ぶりの対面による壮行会です。

各部の部長等による宣誓は、選手はもとより、中体連に関わる全ての生徒が誓うもので、正々堂々と戦うこと、反則や卑怯な行為をしないこと、ルールを守ることを誓い、同時に歴史ある旭中の代表としての健闘を約束するものであり、まさに「あさひやまプライドプロジェクト」です。この宣誓は、「正々堂々と戦う」、「反則しない」、これらの言葉はもちろんですが、「今日までどんな練習を頑張ってきたのか」、「その成果をどうやって発揮したいのか」などが述べられ、加えて、日ごろの保護者や指導者に対する感謝の気持ち、チームメイトやクラスの仲間との絆など、人との繋がりについての言葉が盛り込まれていました。

本校の各部長による宣誓は、旭中生としての「誇り」と「Pride」が感じられる内容であり、本校選手団の確実な成長を実感できる壮行会となりました。



中体連の結果報告

部活動	大会結果
野球部	3回戦惜敗
男子ソフトテニス部	団体：予選リーグ3位で予選惜敗 個人：松浦・小田ペアベスト16(上代出場)
女子ソフトテニス部	団体：3位(上代出場) 個人：武市・佐藤心ペア72位(上代・全国出場) 山岸・佐藤花ペアベスト16(上代出場)
男子卓球部	団体：2位(上代出場) 個人：野原3位, 浦崎3位, 入江5位(上代出場)
女子卓球部	団体：決勝トーナメント1回戦惜敗 個人：1回戦から3回戦惜敗
バレーボール部	3位(上代出場)



柔道部	男子：団体優勝 個人：佐藤優勝, 堀井優勝, 田中優勝, 笹川2位, 志村3位, 成田・米林3位(上代出場) 女子：団体2位 個人：宗像3位, 清水まな2位, 清水ひな3位, 阿部3位(上代出場)
剣道部	男子：芦原裕人5位(上代出場) 女子：芦原由依17位(上代出場)

PTAからのお知らせ！

コロナ禍での期間限定の取組

4月に開催されたPTA総会において、濱会長より提案のあったとおり、今年度のPTA活動はコロナ禍にあっても実施可能な取り組みを本部役員が中心となって進めることになっており、1月に行った「IUPキャンペーン」に引き続き、各ご家庭で出来る、前向きで、簡単で、ユニークな実践「第2弾」に決まりました。

お子様との会話が広がり、笑顔が伝わり、新しい魔法の言葉が誕生する、そんな素敵な取り組みです。

多くの優しい実践が繰り広げられ、旭中から優しい笑顔が世界中に広がりますように。

「今、家庭でできるIUP」～第2弾～よろしくお願いします。

内容は、濱会長が手書きで作成した別紙の通りで、「1日〇〇回ありがとうを言おう!」とか、「笑顔と会話が広がる我が家のクッション言葉!」とか、「ういっすう!は我が家の親子エール」とか、等々、キャンペーン期間は7月11日(月)～夏休み終了まで。

取り組みの内容は、夏休み明けに子どもたちにアンケートを行い確認し、今後のPTA活動に活かします。もちろん結果は保護者の皆様にも伝えていただきます。

素敵な、旭中PTAならではの取り組み参画と協力をお願いします。



「あさひやま」に生きる人々のストーリー「Pride Project」第2弾

体育の体力テスト等、生徒にやる気と活力を与えてくれるスーパーボランティアの中野さんです

Nakano Hiromoto

中野博元さん <71>

東旭川地域ボランティア団体

「縁助意」会長
東旭川町北

優しさを体感できるこの東旭川に移り住んで6年。包括支援センターのボランティア交流会を経て、地域ボランティア団体「縁助意」を結成。人の役に立ちたい一心で介護予防のための「縁助意体操」を開発し、普及に取り組む。本校の体育授業や「春フェス」では、あたたかい声かけで、生徒を優しく包み込んでいただき、「やる気」「元気」を引き出してもらっています。バスケットボールと柔道で鍛え上げた身体を武器に、地域に笑顔を広げています。

「縁助意体操」をDVD化
愛する東旭川を温かい町に



あさひやまの次世代に贈る メッセージ！

新体力テストや「春フェス」のお手伝いをし、生徒の皆さんから、活力をもらいました。皆さんの笑顔は私たちを明るくしてくれます。

「中学生」というと私にとっては、ちょうど孫の世代。このコロナ禍で、なかなか孫に会えない状況の中、旭中生とのこの出会いに感慨深いものがあります。

上級生になるほど、私たちに対して遠慮がちな面を感じていましたが、声をかけると素直に話を聴いてくる、そんな皆さんに感謝です。

旭川中学校の皆さんには、グループ内で、和気藹々とした「支え合い」「助け合い」がみられました。困っている生徒に、アシストを続ける生徒がいたことにも感服しました。そういった皆さんの優しさは、高校生や社会人になっても持ち続けてほしいと思います。

あさひやまPride Project

あさひやまを愛し

あさひやまに生きるヒトのヒストリー